

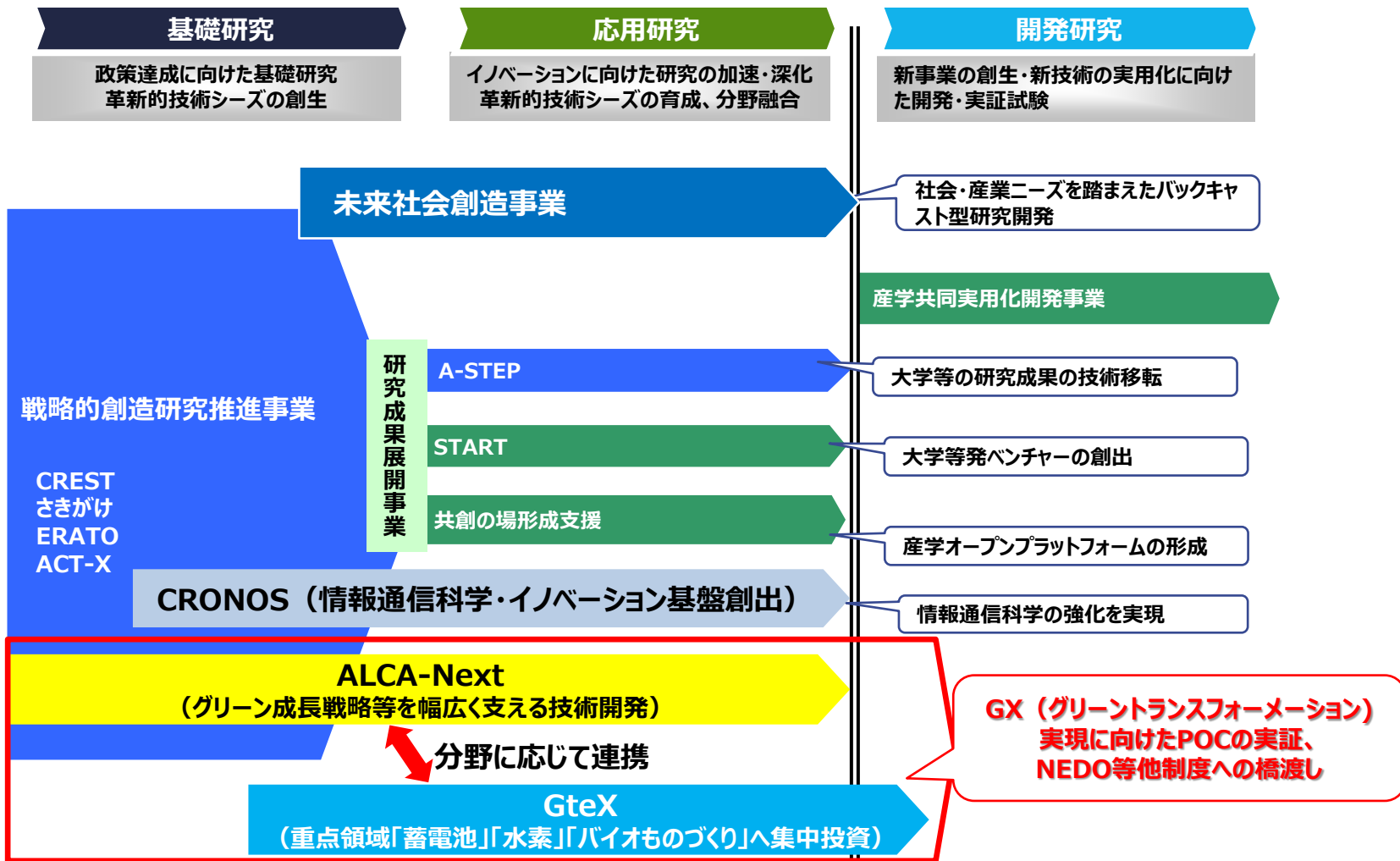


# 戦略的創造研究推進事業 ALCA-Next 制度説明 および 募集概要

2026年3月

国立研究開発法人科学技術振興機構

# JST事業におけるALCA-Nextの位置づけ



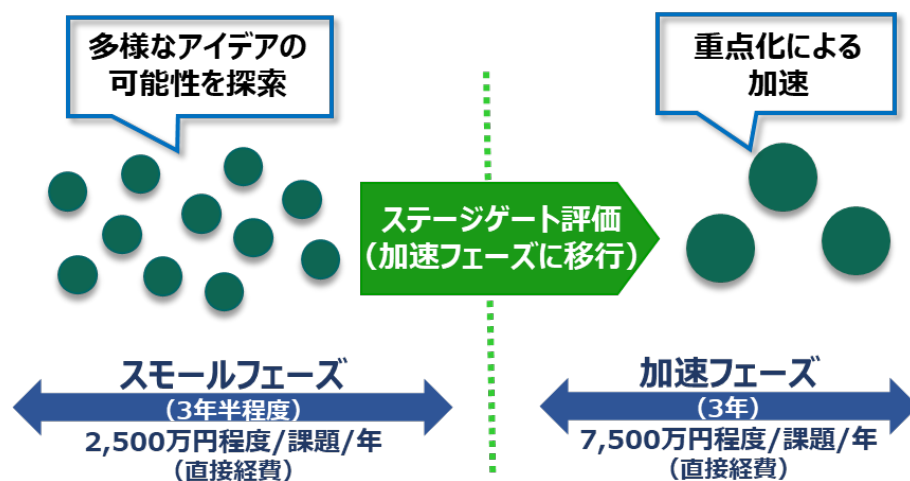
# ALCA-Next の 概要

## プログラムの趣旨

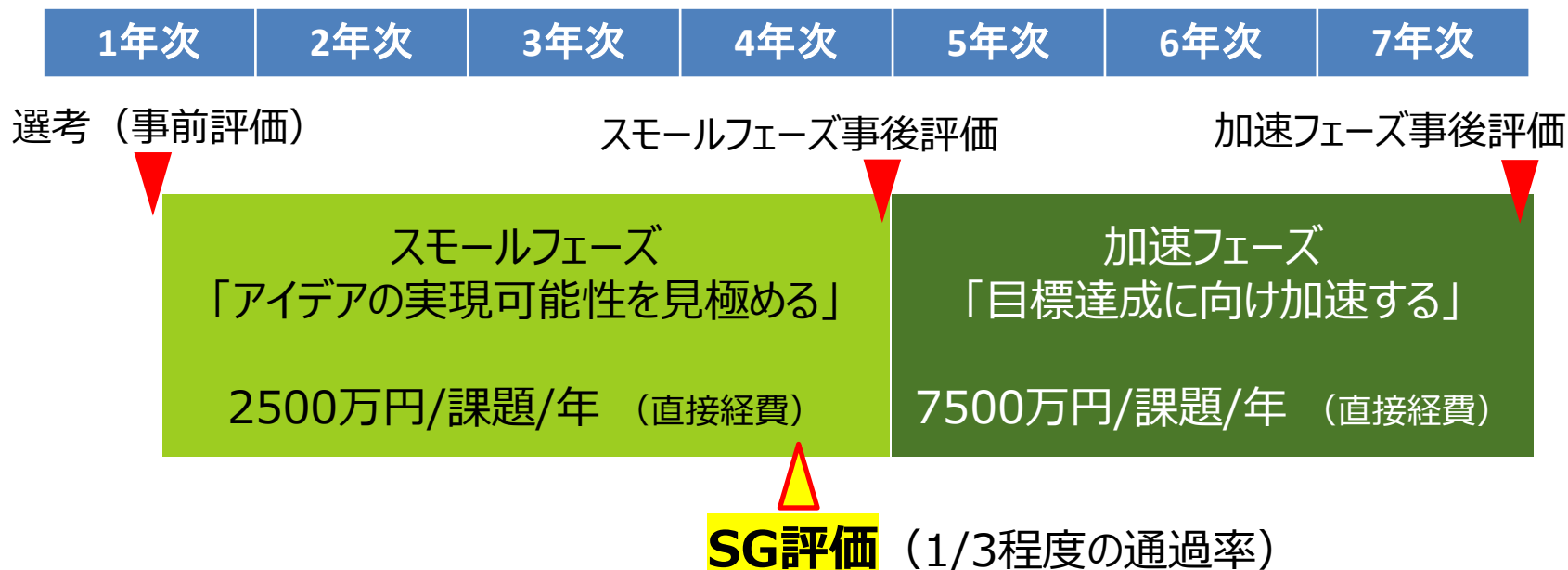
カーボンニュートラルへの貢献という出口を明確に見据えつつ、個々の研究者の自由な発想に基づき、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジー創出を目指す。

## プログラムの特徴

- **カーボンニュートラルに貢献する幅広い研究分野**をカバー
- **個々の研究者の自由な発想**に基づく**挑戦的な提案**を積極的に採択
- **ステージゲート評価等により技術的成熟度の向上**を図り**技術シーズ**を育成
- GteX等の他事業と連携により、**研究開発の加速と成果の橋渡し**を目指す



# ステージゲート評価



ステージゲート評価では

- サイエンスとしての観点に加え、本プログラムの趣旨である「カーボンニュートラルへの貢献可能性」の観点からも厳密な評価を行います。
- 単純な絞り込みにとどまらず、状況に応じて複数課題の融合による体制再編成等を検討する場合があります。

# ALCA-NextとGteXとの連携

## GteX

革新的GX技術創出事業

トップダウンで定めた「蓄電池」「水素」「バイオものづくり」分野について、大学等のトップレベルの研究者によるオールジャパンの統合的な「チーム型」の連携体制を構築し、基礎研究の成果を挙げることにとどまらず、**社会実装**に向けた技術成熟度（TRL）の向上等を目指します。

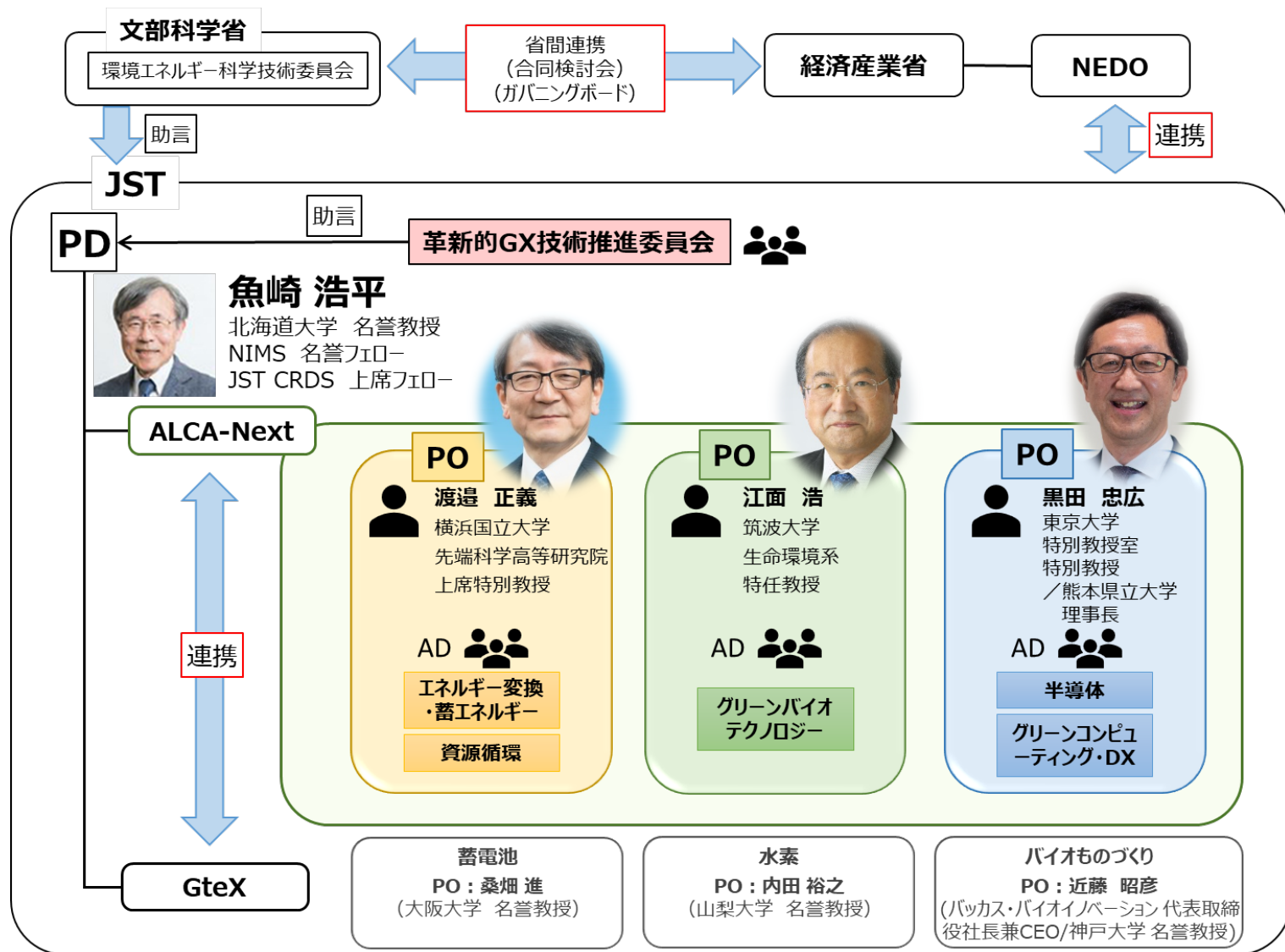
## ALCA-Next

先端的カーボンニュートラル技術開発

個々の研究者の自由な発想に基づき（ボトムアップ）、幅広く、科学技術パラダイムを大きく転換する**ゲームチェンジングな技術シーズ**を創出します。

- ALCA-NextとGteXは一体的な運営を行い、成果の最大化を図ります。
  - データの共用化、国際連携、若手研究者の育成等に、協働して取り組みます。また、機器共用の促進の観点から、GteXで整備・供用される研究機器等を本プログラムの研究者が活用する仕組みがあります。  
<https://www.jst.go.jp/gtex/field/pf.html>
  - 創出された成果がGteXのチーム型研究における要素技術として有効とGteXのPO等が判断した際には、GteX採択課題へ参画して研究開発を実施いただく等の調整を行う場合があります。

# ALCA-Next 運営体制



# 研究開発提案募集について

# 募集・選考のスケジュール

募集開始	2026年3月10日(火)
募集受付締め切り (e-Radによる受付期限)	<b><u>2026年5月7日(木)</u></b> <b><u>12:00(正午)厳守</u></b>
書類選考期間	5月中旬～6月中旬
書類選考結果の通知	※面接対象者のみに、面接選考会よりおおよそ7-14日前に連絡いたします。
面接選考期間	7月上旬 ※面接日はWebサイトをご確認ください。
採択課題の通知・発表	8月下旬～9月上旬
研究開発開始	9月上旬以降

**募集締切までに e-Rad を通じた応募手続きが完了していない提案は、**  
**いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません。**  
〆切に余裕をもって応募くださいますようお願いいたします。

# 2026年度 募集対象の技術領域

## 「資源循環」領域

(プログラムオフィサー：渡邊 正義)

## 「グリーンバイオテクノロジー」領域

(プログラムオフィサー：江面 浩)

## 「半導体」領域

(プログラムオフィサー：黒田 忠広)

- ※ エネルギー変換・蓄エネルギー領域およびグリーンコンピューティング・DX領域の募集を行いません。
- ※ FS課題の募集もありません。

# 研究開発期間、研究開発費、採択予定課題数

## ● 研究開発期間

スモールフェーズ 3年6カ月程度、 加速フェーズ※ 3年

※ 加速フェーズへの移行は、ステージゲート評価で審査

## ● 研究開発費

以下を上限として、研究開発提案者が設定。

スモールフェーズ（1～4年目まで）：上限2,500万円／年（直接経費）

加速フェーズ（5～7年目まで）：上限7,500万円／年（直接経費）

※ 選考の過程で、設定した研究開発費の妥当性を査定。

※ 実際の研究開発費は、研究開発計画の精査・承認によって決定。

※ 研究進捗状況等を踏まえ、研究開発期間中に別途調整する場合がある。

## ● 採択予定課題数

全体で 6件程度 を予定

# 評価基準(事前評価)

## 1. 目的・趣旨

- 本プログラム・技術領域等の趣旨に合致し、カーボンニュートラル実現に大きく貢献可能な技術の創出が期待されること。

## 2. 独創性・優位性

- 従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容で科学技術の飛躍的な発展が見込めるものであり、かつ、国内外の研究開発動向等を踏まえ提案内容が独創性・優位性を有していること。

## 3. 目標・計画

- 実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。

## 4. 実施体制

- 提案内容の遂行に最適な実施体制を構築していること。

## 5. 遂行能力

- 提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

※研究費の「不合理な重複」ないし「過度の集中」にあたるかどうか、選考の要素となります。

# 応募要件(1)

## ● 研究開発提案者の要件

- 研究開発代表者となる研究開発提案者自らが、**国内の研究開発機関に所属**して当該研究開発機関において研究開発を実施する体制を取ること（研究開発提案者の国籍は問いません）。
  - 株式会社、持株会社、有限会社等の民間企業
  - 国公立大学、大学共同利用機関、国立研究開発法人、国公立試験研究機関、特殊法人・独立行政法人、高等専門学校 等
  - 一般社団法人・一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、自治体 等
- 全研究開発期間を通じ、研究開発課題の責任者として研究開発課題全体の責務を負うことができる研究者であること。
- 所属研究開発機関において**研究倫理教育に関するプログラムを予め修了していること**。または、JSTが提供する教育プログラムを募集受付締切までに修了していること。（他のメンバーは、採択後に受講必須となります）
- 各種ガイドライン等を遵守すること。

# 応募要件(2)

## ● 研究開発体制の要件

- 研究開発チームは、研究開発代表者となる研究開発提案者の研究開発構想を実現する上で最適な体制であること。
  - 研究開発代表者は、自身が率いる「研究開発代表者グループ」のほか、共同研究グループを設置することができます。
  - 個人での研究開発提案も可能です。（共同研究グループなしでも構いません）

## ● 研究開発機関の要件

- 「3.6 研究開発機関等の責務等」に掲げられた責務が果たせること。
- 研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。
- 応募に際しては、研究開発の実施を予定している全ての研究開発機関から事前承諾を確実に得てください。（承諾書の提出等は不要です）

# 利益相反マネジメント

公正で透明な評価を行う観点から、研究開発提案者と下記に示す利害関係にある者は選考に加わりません。また、主たる共同研究者に関しても、下記に示す利害関係者が選考に加わらない場合があります。

- a. 研究開発提案者と**親族関係にある者**。
- b. 研究開発提案者と大学等の研究機関において**同一の学科、専攻等に所属している者**又は研究開発提案者等が所属している大学等若しくは大学等を経営する法人の役員その他**経営に関与している**と見なされる者及び当該法人を代表して**対外的に活動する者**。  
(同一の学科・専攻等とは、最小の研究単位である研究室又は研究チーム等よりも一つ上のまとまりを指す)
- c. 研究開発提案者と**同一の企業に所属している者**又は**研究開発提案者が所属する企業の親会社等にあたる企業に所属している者**
- d. 研究開発提案者と**緊密な共同研究**を行う者。  
(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは研究開発提案者の研究開発課題の中での共同研究者等をいい、研究開発提案者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
- e. 研究開発提案者と**密接な師弟関係**あるいは**直接的な雇用関係**にある者。
- f. 研究開発提案者の研究開発課題と**直接的な競争関係**にある者。
- g. その他JSTが利害関係者と判断した者。

# 重複応募の制限について(1)

- 全ての技術領域の中から、研究開発代表者として1件のみ応募可能です
- 提案時に、以下の立場にある方は、研究開発代表者として、応募できません。
  - a. ALCA-Next の研究開発代表者・主たる共同研究者  
(ただし、FS課題の研究開発代表者・主たる共同研究者は除く)
  - b. GteX の研究開発代表者・主たる共同研究者 (グループリーダーおよび、委託研究の契約代表となるグループメンバー)
  - c. 未来社会創造事業「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域 (探索研究) の研究開発代表者・主たる共同研究者

# 重複応募の制限について(2)

現在の研究開発 課題の立場		ALCA-Next	
		研究開発代表者	主たる共同研究者
ALCA-Next	研究開発代表者	×注1	×注1
	主たる共同研究者	×注1	○注2
GteX	研究開発代表者	×	×
	主たる共同研究者	×	×
未来社会創造事業「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域（探索研究）	研究開発代表者	×	×
	主たる共同研究者	×	○注2

注1) FS課題の研究開発代表者・主たる共同研究者は応募が可能です。

注2) 応募先の研究開発課題が採択候補 となった場合は、研究開発内容や規模等を勘案した上で、研究開発費の減額や、当該研究者が参画する研究開発課題のうち一部の課題の参画を認めない等の調整を行うことがあります。

※詳細は、募集要項「2.7 重複応募の制限について」をご確認をお願いします。

# 「不合理な重複」「過度の集中」の排除について

研究開発費の配分対象となる研究開発代表者や主たる共同研究者について、「不合理な重複」や「過度の集中」があるとみなされる場合は、その程度に応じ、研究開発課題の不採択、採択取消し又は減額配分を行います。

## ● 「不合理な重複」

- 同一の研究者による同一の研究開発課題（相当程度重なる場合を含む。）に対して、複数の競争的研究費が不必要に重ねて配分される状態

## ● 「過度の集中」

- 本事業に提案された研究開発内容と、内容が異なる場合においても、同一の研究者又は研究開発グループに当該年度に配分される研究開発費全体が、効果的、効率的に使用できる限度を超え、その研究開発期間内で使い切れないほどの状態

特に、JST が運用する全ての競争的資金制度を通じて**研究開発課題等への参加が複数**となる場合には、**研究開発費の減額**や、当該研究者が実施する**研究開発課題を1件選択**する等の調整を行うことがあります。

# 応募時の留意事項

## ● 技術領域ごとの選考について

技術領域ごとに研究提案を募集します。必ず以下の内容をご確認ください。

- 募集要項別紙第6章 「募集対象となる技術領域」
- POによる領域概要説明動画（Webサイトに掲載）

## ● 提案書様式の変更について **重要**

2026年度より提案書の様式が変更となっております。

最新の様式を公募ページからダウンロードして研究開発提案書を作成してください。

# 研究セキュリティの確保について(1)

- 「研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書※」(以下、手順書)においては、我が国の経済安全保障上の要請に応えるのみならず、G7各国やその他の同志国と相互の信頼を構築し、引き続き、国際共同研究等を円滑に推進するために、研究セキュリティ確保が必要とされています。
- 研究セキュリティ確保の取組は、ゼロリスクを目指したり、幅広い研究に制限を設けたりすることはせず、研究や国際連携を健全に前に進めることを目的に、その際に生じ得るリスクを適切な範囲で軽減するために行うことを原則としています。
- **ALCA-Nextは、特定研究開発プログラムとして指定**されています。
  - 対象領域：全領域
  - 対象課題：令和8年度新規採択課題より適用
  - 対象機関：委託研究契約書において「大学等」あるいは「企業等」と認められた研究開発機関

重要

※「研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書」

(令和7年12月内閣府研究セキュリティと研究インテグリティの確保に関する有識者会議)

[https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/integrity/yushikisha/guidelines\\_v1.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/integrity/yushikisha/guidelines_v1.pdf)

# 研究セキュリティの確保について(2)

JSTは、研究セキュリティの確保の観点から、研究開発代表者の所属する研究開発機関及び主たる共同研究者の所属する研究開発機関に、手順書に基づくリスクマネジメントの実施を求めます（詳細は募集要項第4章をご参照ください）。

## 1. リスクマネジメントの具体的内容

採択候補課題のうち、リスクマネジメントの対象となった課題の研究開発代表者へ「研究セキュリティに関する質問票」を送付します。回答をもとに、JSTと研究開発代表者及び研究開発機関と協議の上で、マネジメント内容を決定します。

## 2. 「研究セキュリティに関する質問票」の回答の提出期限

研究開発代表者は、主たる共同研究者の同意と、研究開発代表者と主たる共同研究者の所属機関の担当部署※の確認を得たうえで、上記「研究セキュリティに関する質問票」への回答を、JST が依頼時に定める提出期限までに提出してください。

※研究セキュリティ・研究インテグリティを所掌する部署が設置されている場合は、当該部署を含む部署等

# 研究セキュリティの確保について(3)

## 3. リスクマネジメントの結果の確認

JSTと文部科学省は、提出された回答を確認します。その結果、必要に応じて、研究開発代表者の所属する研究開発機関と主たる共同研究者の所属する**研究開発機関**に対し、**追加的なリスク軽減措置の実施を要請**することがあります。

## 4. 個人情報の取扱い

提供された研究者等の個人情報は、研究セキュリティの確保に向けたリスクマネジメントの実施を目的として、JSTのほか、JSTから当該個人情報の提供を受けた文部科学省及び内閣府等の政府機関が、必要な範囲内で利用する場合があります。

## 5. 手順書違反が生じた場合の措置

手順書違反行為については、当該行為の悪質性及び招いた結果の重大性を踏まえ、「競争的研究費の適正な執行に関する指針」(平成17年9月9日競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ)における不正受給の行為として、当該不正受給を行った研究者と共謀した研究者に対し、本プログラム等への応募制限措置等が講じられる場合があります。

# 準備が必要な留意事項

応募要件に加え、以下にもご留意ください。

## ● e-Radへの登録

- 応募には府省共通研究開発管理システム（e-Rad）への登録が必要です。  
※研究者・機関情報の登録には2週間程度かかります。

e-Rad : <https://www.e-rad.go.jp/>

- e-Radから応募する際「研究インテグリティに関する誓約」は、研究開発代表者に加え、主たる共同研究者も必須です。（全員誓約していないとエラーで応募できません）

## ● researchmapへの登録

- 面接選考の対象となった研究開発代表者および主たる共同研究者は、researchmapへの登録が必須となります。未登録の方は早めの登録をお勧めします。

# お問い合わせ先

詳細は、webサイトをご確認ください

<https://www.jst.go.jp/alca/koubo/2026/index.html>

募集要項・提案書様式のほか、  
各種更新情報を掲載いたします

## 問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

Mail. [alca-next@jst.go.jp](mailto:alca-next@jst.go.jp)

お問い合わせはお急ぎの場合を除き、**電子メール**でお願いします



Xでも情報発信しています！  
@JST\_mirai